「ホテルオークラ」 インドネシア初出店「（仮称）オークラレジデンス ジャカルタ/ホテルオークラジャカルタ」始動

～分譲型サービスアパートメント・ホテル2025年に誕生、日本のおもてなし精神に根差したサービスを提供～

三菱地所株式会社　　2022年01月26日

三菱地所株式会社は、インドネシアのローカルデベロッパーであるDuta Putra Land（以下、DPL社）及

びRizki Bukit Abadi（以下、RBA社）と共同でジャカルタ特別州中心部における分譲型サービスアパートメント・ホテル開発事業を推進しておりますが、このほど同事業推進会社であるPT Bima Sarana Perkasaは同事業で開発するサービスアパートメントおよびホテルの運営管理契約を株式会社ホテルオークラ（以下、ホテルオークラ）と締結いたしました。

ホテルオークラは「オークラレジデンス ジャカルタ」および「ホテルオークラジャカルタ」として2025年の開業を目指します。

なお、本件は三菱地所のインドネシアにおける初めての分譲型サービスアパートメント・ホテル開発プロジェクトであり、また、ホテルオークラとしても「ホテルオークラ」ブランドでの初のインドネシア出店となります。

【本プロジェクトの特徴】

・「ホテルオークラ」ブランド インドネシア第1号物件

・首都ジャカルタCBD内、主要幹線道路であるGatot Subroto通りに立地

・総事業費約212億円、地上46階建て、分譲型サービスアパートメント353戸・ホテル181室の大規模案件

ASEAN諸国最大の人口とGDPを誇るインドネシアのジャカルタ特別州は、居住人口が1,000万人を超えるインドネシアの首都であり、先般発表された首都移転後も経済の中心地として堅調な不動産需要が見込まれています。本計画はジャカルタ特別州CBD内・主要幹線道路であるGatot Subroto通り沿いで、2022年に開通予定のLRT（軽量高架鉄道）新駅にも至近な交通利便性に優れたエリアに立地しています。

三菱地所は、100％子会社の投資ビークルを通じて本計画の50％のシェアを有しており、2019年に設立した現地法人・三菱地所インドネシアが、事業会社からプロジェクトマネジメント業務を受託した上で開発を主導しています。これまでのインドネシア国内で培ったノウハウを最大限活用し、インドネシアにおけるプレゼンスをさらに高めることで、海外事業全体の更なる成長を目指してまいります。

ホテルオークラは、国内外のホテル運営で培ったノウハウ、日本のおもてなしの精神に根差したサービスにより同ホテルおよびサービスアパートメントの運営・管理を行う予定です。また、同事業を通じ、海外におけるレジデンス運営管理事業の更なる拡大を目指してまいります。

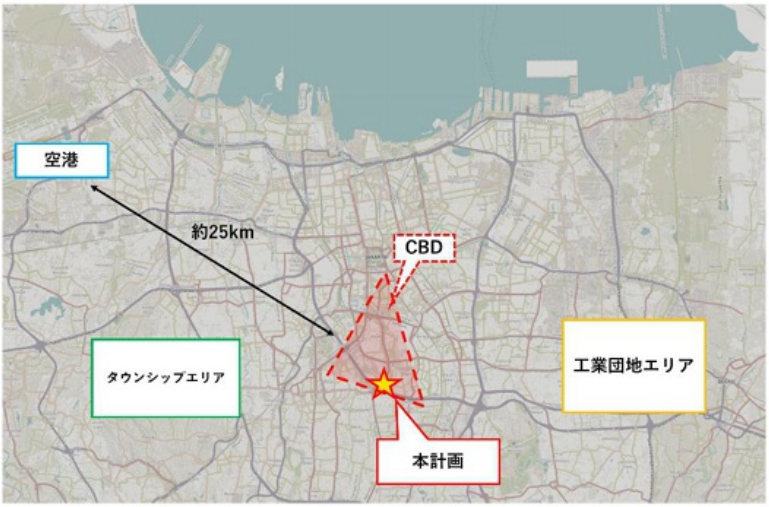
▲「(仮称) オークラレジデンス ジャカルタ/ ホテルオークラジャカルタ」外観イメージ

【計画概要】

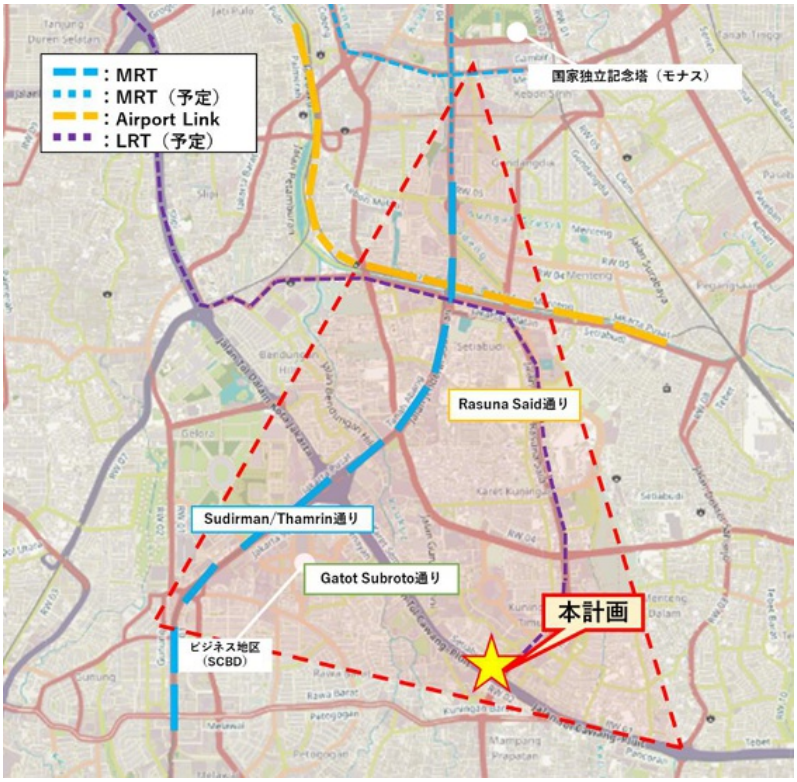
所　　在　　地：インドネシア　ジャカルタ CBD 内、幹線道路 Gatot Subroto 通り沿い
敷　地　面　積：約 6,000 ㎡
建　物　規　模：地上 46 階、地下 4 階建て（ホテル 1 階～13 階 181 室、サービスアパートメント 15 階～45 階 353 戸）
用　　途：分譲型サービスアパートメント、ホテル、商業施設等
延　床　面　積：約 95,000 ㎡
（分譲型 SA 約 51,000 ㎡、ホテル 約 23,000 ㎡、商業施設 約 4,000 ㎡、駐車場 約 17,000 ㎡等）
分　譲　面　積：約 37,000 ㎡（分譲 SA）
事　　業　　者：PT Bima Sarana Perkasa
出　資　比　率：MEACH※：50%、DPL 社関連会社・RBA 社：50%
※MEA Commercial Holdings Pte. Ltd.（三菱地所 100%子会社）
基本計画・外装デザイン：株式会社三菱地所設計・三菱地所設計アジア社
設　計　・　施　工：JO. Shimizu-Total（清水建設と現地最大手ゼネコン Total 社の共同事業体）
着　　工：2021 年 12 月 9 日
竣　　工：2025 年上旬（予定）
運営契約締結日：2022 年 1 月 25 日

© OpenStreetMap contributors

＜MAP＞



▲広域 MAP



【物件の特徴】

・日本が世界に誇るラグジュアリーホテル「ホテルオークラ」による上質なサービス提供と管理・運営

・ホテル：標準客室数面積38㎡、ホテル付帯施設：オールデイダイニング、和食レストラン、 クラブラウンジ、バー、宴会場1室、会議室4室、屋内外プール、フィットネス、大浴場 他

・分譲型SA：Studio、1～4ベッドルーム、ペントハウスなど様々なニーズに合わせた豊富な部屋タイプ

・共有スペース：インフィニティプールや大浴場、ボールルーム等を完備したラグジュアリーな空間

▲分譲型 SA 専有部イメージ

▲インフィニティプールイメージ

【本プロジェクト共同開発事業者について】

＜DPL 社 概要＞
本社所在地：インドネシア、ジャカルタ
設　　立：1983 年
事 業 内 容：不動産開発
主な開発物件：La Vie All Suites Apartment（ジャカルタ CBD 所在の高級分譲コンドミニアム）など
代　表　者：Herman Soedarsono 氏

＜RBA 社 概要＞
本社所在地：インドネシア、ジャカルタ
設　　立：2008 年
事 業 内 容：不動産開発、飲食店経営、エンターテインメント事業等
主な開発物件：Plaza Indonesia（ジャカルタ CBD・Sudirman 通り所在の高級ショッピングモール）など
代　表　者：Rosano Barack 氏